

施設名	都道府県
出雲市民病院	島根県
富永歯科医院	島根県
高木歯科医院	島根県
特定医療法人 寿生会 寿生病院	島根県
西部島根医療福祉センター 歯科口腔外科	島根県
津和野共存病院	島根県
医療法人 青木内科小児科医院 あいの里クリニック	岡山県
社会医療法人 緑社会 金田病院	岡山県
小山歯科医院	岡山県
はなふさ歯科	岡山県
特定医療法人 万成病院	岡山県
岡山大学病院	岡山県
公益財団法人 弘仁会 玉島病院	岡山県
老人保健施設 エスペランスわけ	岡山県
倉敷中央病院	岡山県
社会福祉法人 幸風会 特別養護老人ホーム シルバーセンター後楽	岡山県
総合病院岡山協立病院	岡山県
ささき歯科クリニック	広島県
一般法人三次地区医師会三次地区医療センター	広島県
医療法人 社団 更正会 草津病院	広島県
広島大学病院	広島県
地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院	広島県
田口歯科	広島県
佐藤歯科医院	広島県
一般法人三次地区医師会三次地区医療センター	広島県
もうり歯科	広島県
黒瀬歯科医院	広島県
広島市立リハビリテーション病院	広島県
医療法人 社団 敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科	広島県
今田歯科医院	広島県
脳神経センター 大田記念病院	広島県
森田歯科医院	広島県
北広島病院	広島県
医療法人 社団 友和会 友和病院	広島県
あめやまクリニック	山口県
まりふ歯科医院	山口県
ささお歯科クリニック 口腔機能センター	山口県
医療法人 相川医院	山口県
宇高耳鼻咽喉科医院	徳島県
社会医療法人 川島会 川島病院	徳島県
成美会 鈴江病院 (徳島市)	徳島県
医療法人 道志社 小松島病院	徳島県
医療法人 久仁会 鳴門山上病院	徳島県
医療法人 あおぞら内科	徳島県
徳島往診クリニック	徳島県
医療法人 倚山会 田岡病院	徳島県
徳島大学病院	徳島県
坂東歯科クリニック	香川県

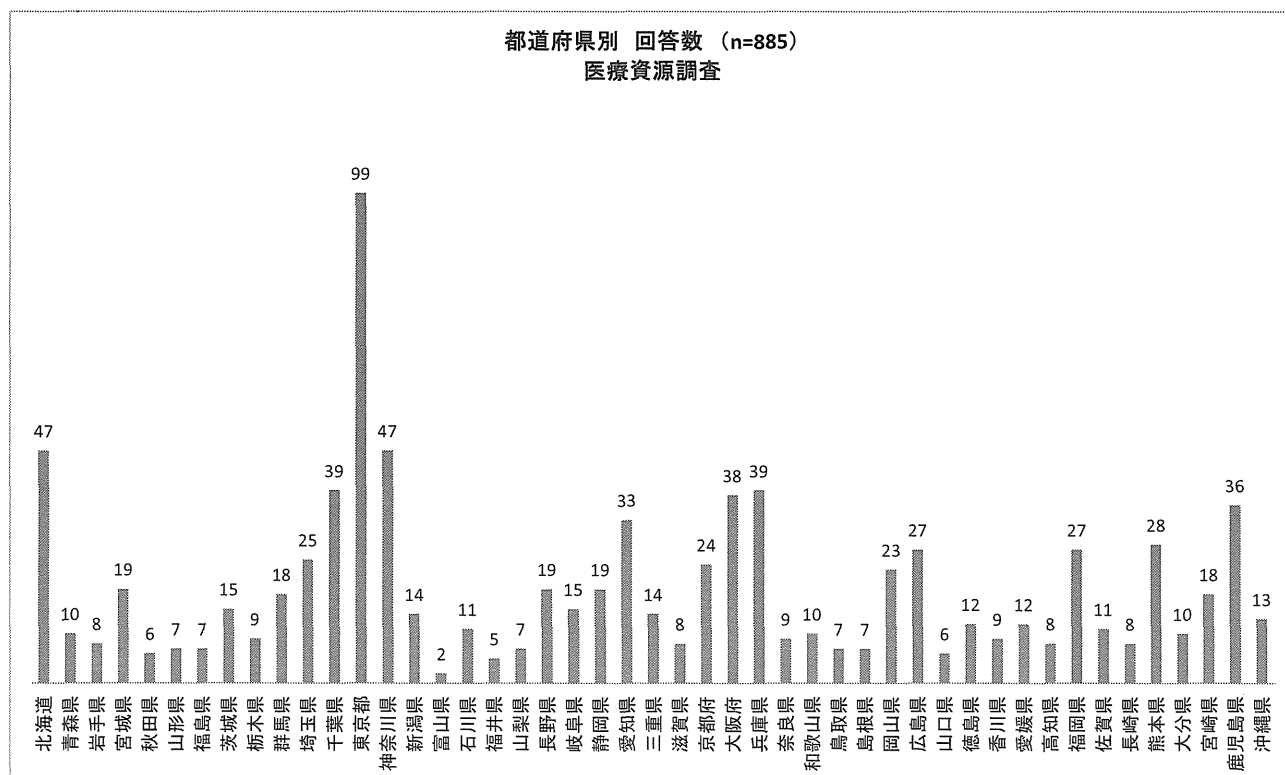
施設名	都道府県
医療法人社団 スガタ歯科医院	香川県
医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック	香川県
梅村歯科医院	香川県
独立行政法人国立病院機構高松医療センター	香川県
医療法人白愛会白石歯科医院	愛媛県
原瀬歯科医院	愛媛県
医療法人 友愛医院	愛媛県
愛媛大学医学部附属病院	愛媛県
瀬尾歯科医院	愛媛県
美須賀病院	愛媛県
市立八幡浜総合病院	愛媛県
島田歯科	高知県
国立病院機構高知病院	高知県
須崎くろしお病院	高知県
加納歯科医院	福岡県
みずほ内科・歯科クリニック	福岡県
フレンド歯科	福岡県
ハラダ歯科医院	福岡県
ほかじょう歯科医院	福岡県
にった歯科医院	福岡県
特定医療法人 原土井病院	福岡県
社会医療法人財団白十字会白十字病院	福岡県
済生会八幡総合病院	福岡県
福岡大学病院	福岡県
九州大学病院顎顔面口腔外科	福岡県
医療法人アンプル アンプル歯科	福岡県
しまだ歯科クリニック	福岡県
福岡リハビリテーション病院	福岡県
社会医療法人 共愛会 戸畑共立病院	福岡県
九州歯科大学附属病院	福岡県
福岡県医療協会 社会保険田川病院	福岡県
大島歯科診療所	福岡県
特定医療法人 北九州古賀病院	福岡県
医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院歯科	福岡県
介護老人保健施設 あやめの里	福岡県
医和基会 牧山中央病院	福岡県
佐賀摂食嚥下リハビリテーション研究会	佐賀県
医療法人口コメディカル江口病院	佐賀県
医療法人健栄会 門司歯科医院	佐賀県
介護老人保健施設 白い石	佐賀県
医療法人 智仁会 佐賀リハビリテーション病院	佐賀県
社会医療法人 謙仁会 山元記念病院	佐賀県
医療法人 至誠堂 宇都宮病院	佐賀県
医療法人 篠田整形外科	佐賀県
玄州会 光武内科循環器科病院	長崎県
高原内科循環器科医院	長崎県
長崎大学病院	長崎県
山部歯科医院	長崎県

施設名	都道府県
耀光リハビリテーション病院	長崎県
介護老人保健施設つくしの里	長崎県
医療法人 宏善会 諫早記念病院	長崎県
玉名地域保健医療センター	熊本県
特定医療法人杏林会鴻江病院	熊本県
くまもと温石病院	熊本県
本町ごとう歯科	熊本県
西日本病院	熊本県
医療法人敬仁会 八代敬仁病院	熊本県
上天草市上天草総合病院	熊本県
熊本リハビリテーション病院	熊本県
国立病院機構熊本医療センター	熊本県
医療法人桜十字病院	熊本県
朝日野総合病院	熊本県
医療法人 社団 大恵会 大林歯科診療所	熊本県
独立行政法人労働者健康福祉機構 熊本労災病院	熊本県
ふみ歯科医院	熊本県
松本歯科医院	熊本県
八代郡医師会立病院	熊本県
めのクリニック	大分県
医療法人 角野歯科医院	大分県
ふじた歯科医院	大分県
河野歯科医院	大分県
佐伯中央病院	大分県
すみれ歯科クリニック	宮崎県
ひとえ歯科クリニック	宮崎県
ほり歯科医院	宮崎県
野間歯科医院	宮崎県
大手門歯科クリニック	宮崎県
ごとう歯科医院	宮崎県
高千穂町国民健康保険病院	宮崎県
潤和地域包括ケアセンター 訪問看護ステーション やわらぎ	宮崎県
県立宮崎病院	宮崎県
慈英病院	宮崎県
医療法人魁成会 宮永病院	宮崎県
鹿児島市立病院	鹿児島県
平田歯科医院	鹿児島県
医療法人 仁慈会 太田歯科医院	鹿児島県
医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック	鹿児島県
せんだい耳鼻咽喉科	鹿児島県
せんだう歯科医院	鹿児島県
国立病院機構鹿児島医療センター	鹿児島県
訪問看護ステーションてあて	鹿児島県
菊野病院	鹿児島県
ひさまつクリニック	鹿児島県
加治木温泉病院	鹿児島県
公益財団法人 肝属郡医師会 垂水中央病院	鹿児島県
くすき歯科クリニック	鹿児島県

施設名	都道府県
鹿児島徳洲会病院	鹿児島県
公益財団法人慈愛会今村病院分院	鹿児島県
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	鹿児島県
ささき歯科医院	鹿児島県
医療法人さくら	鹿児島県
医療法人青仁会 池田病院	鹿児島県
鹿児島大学病院 霧島リハビリテーションセンター	鹿児島県
朝仁歯科医院	鹿児島県
介護老人保健施設ナーシングホームひだまり	鹿児島県
さだむら歯科医院	鹿児島県
医療法人 起生会 林内科胃腸科病院	鹿児島県
クオラリハビリテーション病院	鹿児島県
西国領歯科医院	鹿児島県
沖縄県立八重山病院	沖縄県
ドクターゴン診療所	沖縄県
沖縄県口腔保健医療センター	沖縄県
医療法人香優会 比嘉歯科医院	沖縄県
高良歯科医院	沖縄県
デイサービス南部整形外科	沖縄県
医療法人光風会 北山病院	沖縄県
豊見城中央病院	沖縄県

21. 都道府県別回答数 ※介護老人保健施設

都道府県別の回答数は、「東京都」が99施設と最も多く、次いで「北海道」「神奈川県」が47施設、その他30施設以上は「千葉県」「愛知県」「大阪府」「兵庫県」「鹿児島県」であった。回答数が二桁に満たなかった箇所は、「岩手県」「秋田県」「山形県」「福島県」「栃木県」「富山県」「福井県」「山梨県」「滋賀県」「奈良県」「鳥取県」「島根県」「山口県」「香川県」「高知県」「長崎県」であった。



G. 研究発表

1. 論文発表（学術誌以外も含む）

1. 戸原玄:Opinion3.歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際, PDN 通信第 49 号:pp.7, 2014

2. 学会発表（学会以外の講演会も含む）

1. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 3 回大分県病院協会栄養部会研修会, ホルトホール, 大分市, 大分県, 2015 年 2 月 28 日
2. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 小田原市保健センター, 小田原市歯科医師会, 小田原市, 神奈川県, 2015 年 2 月 26 日
3. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 23 回茨城県歯科医学会, 茨城県歯科医師会, 水戸プラザホテル, 水戸市, 茨城県, 2015 年 2 月 22 日
4. Haruka Tohara: Oral Rehabilitation for Dentist, Rehabilitation in swallowing disorders seminar, Dental hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen city, Thailand, Feb 18, 2015
5. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会, 第 9 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 石川県地場産業振興センター, 金沢市, 石川県, 2015 年 2 月 15 日
6. 戸原玄:摂食・嚥下障害のアセスメント, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県歯科医師会, 熊本歯科衛生士専門学校, 熊本市, 熊本県, 2015 年 2 月 7 日
7. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 広島県歯科医師会館, 広島市, 広島県, 2015 年 1 月 30 日
8. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, メディケアフーズ展 2015, 東京ビッグサイト, 江東区, 東京都, 2015 年 1 月 29 日
9. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 高齢者の食支援を考える会 設立1周年記念摂食嚥下講演会, 高齢者の食支援を考える会・所沢市歯科医師会 食支援ネットワーク委員会, 所沢市保健センター, 所沢市, 埼玉県, 2015 年 1 月 22 日
10. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 1 回東海摂食栄養フォーラム, 東海HEI和マニア, 今池ガスビル, 名古屋市, 愛知県, 2015 年 1 月 17 日
11. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度第 2 回摂食嚥下障害支援歯科医師養成研修会, 岐阜県歯科医師会, 岐阜県歯科医師会館, 岐阜市, 岐阜県, 2015 年 1 月 11 日
12. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成 26 年度摂食・嚥下・食支援人材育成研修会, 鹿児島県歯科医師会, 鹿児島県歯科医師会館, 大島郡医師会館(サテライト会場), 鹿児島市, 鹿児島県, 2014 年 12 月 21 日
13. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 6 回高知口腔ケアフォーラムーがん治療をささえる口腔ケアー, 特別講演, 高知大学医学部臨床講義棟第 3 講義室, 南国市, 高知県, 2014 年 12 月 13 日
14. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 摂食嚥下セミナー2014, 岩手医科大学, 盛岡市, 岩手県, 2014 年 12 月 9 日
15. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 医科歯科連携研究会 2014, 東京保険医協会・東京歯科保険医協会・千葉県保険医協会, 東京保険医協会セミナールーム, 新宿区, 東京都, 2014 年 12 月 6 日
16. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 富士見会, 愛媛県歯科医師会館, 松山市, 愛媛県, 2014 年 11 月 29 日
17. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 嚥下内視鏡検査実技・実習コースアドバンスコース, NPO 法人 歯科医療情報推進機構, 新宿 NS ビル, 新宿区, 東京都, 2014 年 11 月 20 日
18. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー在宅での対応を考えるー, 歯科学術研究会, 三重県保険医協会, プラザ洞津, 津市, 三重県, 2014 年 11 月 9 日
19. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 愛豊歯科医師会, 東京第一ホテル錦, 名古屋市, 愛知県, 2014 年 11 月 6 日
20. 戸原玄:在宅医療におけるチームアプローチの重要性ー医療連携に基づく基礎知識の整理も含めてー, 平成 26 年度予防・在宅歯科医療等対応教員養成校集会歯科衛生士専任教員講習会 V, 日本歯科大学東京短期大学, 千代田区, 東京都, 2014 年 10 月 25 日
21. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会・第 4 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 仙台国際センター, 仙台市, 宮城県, 2014 年 10 月 12 日
22. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションの基礎から実際, 第 15 回 NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食嚥下セミナー, NHP 栃木医療センター地域医療研修センター講

堂,NHO 栃木医療センター,宇都宮市,栃木県,2014年9月30日

23. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際～地域を考えた摂食嚥下障害への対応～,緩和ケアチーム,NST 共催第10回東京医科歯科大学 NST セミナー,鈴木彰男記念講堂,東京医科歯科大学,文京区,東京都,2014年9月26日
24. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる,嚥下障害に係る市民公開講座,岡谷病院,岡谷市カノラホール,岡谷市,長野県,2014年8月23日
25. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,NST 口腔嚥下・歯科口腔外科特別講演,信州大学医学部歯科口腔外科学,信州大学医学部附属病院,松本市,長野県,2014年8月22日
26. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第4分科会高齢期の生き生きとした食生活,健康生きがい学会第5回大会,弘前医療福祉大学,弘前市,青森県,2014年8月6日
27. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,藤枝歯科医師会講演,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
28. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる,藤枝市市民公開講座,藤枝歯科医師会,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
29. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント,青森県歯科衛生士会平成26年度第2回生涯研修,青森県歯科衛生士会,青森刊行物産館アスパム,青森市,青森県,2014年7月13日
30. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,在宅歯科医療連携推進研修会,富山県歯科医師会,富山国際会議場,富山市,富山県,2014年7月10日
31. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,口腔病学会例会,東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂,文京区,東京都,2014年7月3日
32. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第1回明正会多職種地域交流セミナー,医療法人社団明正会,亀戸文化センター,江東区,東京都,2014年7月2日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

行政・保健所に対する有効事例の存在および新規連携事例希望アンケート調査

担当責任者

山脇正永 京都府立医科大学総合医療医学教育学講座 教授
千葉由美 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻成人看護学 教授
白井淳子 東京都多摩立川保健所 歯科保健担当課長
矢澤正人 東京都新宿区健康部参事

研究要旨

行政が主体となって地域で摂食嚥下・栄養の課題に取り組むことで、その地域の実情にあった支援システムの構築が期待される。しかしながら、全国的には各行政の取組実態は明らかになっておらず、「どのように進めて行けばよいのかわからない」という行政担当者の声も聞こえている。そこで、行政が地域で取り組んだ有効事例を収集するとともに、地域と地域の新たな連携の構築を図ることで広く摂食嚥下・栄養の取組が推進できるものと考え、行政を対象とした全国調査と希望する行政への支援を行い、その方法を検証するための初期段階の調査方法を考えた。

A. 研究目的

行政・保健所を対象に摂食嚥下・栄養の課題に関する取組調査を行うことにより、行政の取組状況を把握するとともに、有効事例収集の一助とする。また、併せて先進地域との連携を希望している地域を募ることにより、新たな連携構築のための基礎資料とする。

B. 研究方法

全国の行政・保健所を対象とし、摂食嚥下・栄養の課題への取組状況および今後の取組意向、先進事例の収集や先進地域との連携希望の調査を企画する。調査の実施にあたって、全国の行政から有効な回答を得るために、まずは行政関係者の意見聴取を行い、研究メンバーで調査方法と質問項目の検討を行った。

（倫理面への配慮）

尚、当該研究においては地域をつなぐことが目的であり、患者データをとるものではないが、東京医科大学歯学部倫理審査委員会に審査をかけたところ、倫理審査不要との通知を受けている（受付番号1168番）。

C. 結果

全国行政歯科技術職連絡会の理事を中心に、摂食嚥下・栄養に関する取組の情報収集を行った。得られた情報より、多くの行政において摂食嚥下・栄養に関する各自治体の窓口が明確になっていないことや、県の取組より基礎的自治体やより小さな地域での取組が行われている可能性が高いことが推測された。

行政を対象に摂食嚥下・栄養の取組を調査するには、調査対象の吟味や調査依頼文の工夫、さらには調査対象に応じた質問票の作成が重要であったため、調査票の内容の決定には至らなかった。

また、都道府県、区市町村、保健所の数を調査し、調査対象を検討した。また、調査方法として調査費用の面から Web 調査が提案されていたが、行政の事務手続を考慮し、郵送による調査に変更することとした。

D. 考察

行政、保健所における摂食嚥下・栄養への取組は、まだ数の少ないことが予測されるが、その実態を調査するために調査対象、方法、質問票の内容の工夫が必要であると考えられる。

さらに、Web 調査が困難であることから、本調査については平成 27 年度に予算を勘案して対象の選定、対象に対応した調査票を決定の上、調査を実施することとした。

E. 結論

行政・保健所を対象として摂食嚥下・栄養の課題にどのように連携を構築しているか、または連携が存在しない場合には新規の連携を取りたいとしているかの意向を調査するための調査方法について議論を重ねた。

F. 健康危険情報

現在のところ報告すべき情報はない。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表（学会以外の講演会も含む）

1. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第3回大分県病院協会栄養部会研修会, ホルトホール, 大分市, 大分県, 2015年2月28日
2. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 小田原市保健センター, 小田原市歯科医師会, 小田原市, 神奈川県, 2015年2月26日
3. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第23回茨城県歯科医学会, 茨城県歯科医師会, 水戸プラザホテル, 水戸市, 茨城県, 2015年2月22日
4. Haruka Tohara: Oral Rehabilitation for Dentist, Rehabilitation in swallowing disorders seminar, Dental hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen city, Thailand, Feb 18, 2015
5. 戸原玄: 口腔ケアや訓練の対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会, 第9回PDN VEセミナー, NPO法人PEGドクターズネットワーク, 石川県地場産業振興センター, 金沢市, 石川県, 2015年2月15日
6. 戸原玄: 摂食・嚥下障害のアセスメント, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県歯科医師会, 熊本歯科衛生士専門学校, 熊本市, 熊本県, 2015年2月7日
7. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 広島県歯科医師会館, 広島市, 広島県, 2015年1月30日
8. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, メディケアフーズ展 2015, 東京ビッグサイト, 江東区, 東京都, 2015年1月29日
9. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 高齢者の食支援を考える会 設立1周年記念摂食嚥下講演会, 高齢者の食支援を考える会・所沢市歯科医師会 食支援ネットワーク委員会, 所沢市保健センター, 所沢市, 埼玉県, 2015年1月22日
10. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第1回東海摂食栄養フォーラム, 東海HEI和マニア, 今池ガスビル, 名古屋, 愛知県, 2015年1月17日
11. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成26年度第2回摂食嚥下障害支援歯科医師養成研修会, 岐阜県歯科医師会, 岐阜県歯科医師会館, 岐阜市, 岐阜県, 2015年1月11日
12. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成26年度摂食・嚥下・食支援人材育成研修会, 鹿児島県歯科医師会, 鹿児島県歯科医師会館, 大島郡医師会館(サテライト会場), 鹿児島市, 鹿児島県, 2014年12月21日
13. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第6回高知口腔ケアフォーラムーがん治療をささえる口腔ケアー, 特別講演, 高知大学医学部臨床講義棟第3講義室, 南国市, 高知県, 2014年12月13日
14. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 摂食嚥下セミナー2014, 岩手医科大学, 盛岡市, 岩手県, 2014年12月9日
15. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 医科歯科連携研究会 2014, 東京保険医協会・東京歯科保険医協会・千葉県保険医協会, 東京保険医協会セミナールーム, 新宿区, 東京都, 2014年12月6日
16. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 富士見会, 愛媛県歯科医師会館, 松山市, 愛媛県, 2014年11月29日
17. 戸原玄: 摂食・嚥下のアセスメント, 嚥下内視鏡検査実技・実習コースアドバンスコース, NPO法人 歯科医療情報推進機構, 新宿NSビル, 新宿区, 東京都, 2014年11月20日
18. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー在宅での対応を考えるー, 歯科学術研究会, 三重県保険医協会, プラザ洞津, 津市, 三重県, 2014年11月9日
19. 戸原玄: 摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 愛豊歯科医師会, 東京第一ホテル錦, 名古屋市, 愛知県,

2014年11月6日

20. 戸原玄:在宅医療におけるチームアプローチの重要性ー医療連携に基づく基礎知識の整理も含めてー,平成26年度予防・在宅歯科医療等対応教員養成校集会歯科衛生士専任教員講習会V,日本歯科大学東京短期大学,千代田区,東京都,2014年10月25日
21. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方,嚥下機能評価研修会・第4回PDN VEセミナー,NPO法人PEGドクターズネットワーク,仙台国際センター,仙台市,宮城県,2014年10月12日
22. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションの基礎から実際,第15回NHO 栃木医療センター口腔ケア兼摂食嚥下セミナー,NHP 栃木医療センター地域医療研修センター講堂,NHO 栃木医療センター,宇都宮市,栃木県,2014年9月30日
23. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際～地域を考えた摂食嚥下障害への対応～,緩和ケアチーム,NST 共催第10回東京医科歯科大学 NST セミナー,鈴木彰男記念講堂,東京医科歯科大学,文京区,東京都,2014年9月26日
24. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる,嚥下障害に係る市民公開講座,岡谷病院,岡谷市カノラホール,岡谷市,長野県,2014年8月23日
25. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,NST 口腔嚥下・歯科口腔外科特別講演,信州大学医学部歯科口腔外科学,信州大学医学部附属病院,松本市,長野県,2014年8月22日
26. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第4分科会高齢期の生き生きとした食生活,健康生きがい学会第5回大会,弘前医療福祉大学,弘前市,青森県,2014年8月6日
27. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,藤枝歯科医師会講演,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
28. 戸原玄:よりよく食べてよりよく生きる,藤枝市市民公開講座,藤枝歯科医師会,藤枝市,静岡県,2014年7月17日
29. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント,青森県歯科衛生士会平成26年度第2回生涯研修,青森県歯科衛生士会,青森刊行物産館アスパム,青森市,青森県,2014年7月13日
30. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,在宅歯科医療連携推進研修会,富山県歯科医師会,富山国際会議場,富山市,富山県,2014年7月10日
31. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,口腔病学会例会,東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂,文京区,東京都,2014年7月3日
32. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際,第1回明正会多職種地域交流セミナー,医療法人社団明正会,亀戸文化センター,江東区,東京都,2014年7月2日

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

有効な連携事例調査

担当責任者

野原幹司 大阪大学大学院歯学研究科 准教授

川越正平 あおぞらクリニック 院長

研究要旨

摂食嚥下・栄養に関する多職種連携を普及することを目的に、その参考モデルとなるような有効事例の報告を収載した。多種多様な施設から、多職種連携で取り組むためのポイントや苦労した点が挙げられており、今回の報告は、今後新たに連携を予定している病院やクリニックにとって有用な資料になると考えられた。

A. 研究目的

本邦では人口の急速な高齢化、認知症患者の急増などにより、高齢者の摂食嚥下・栄養の課題に対する対応が求められている。全国的には、誤嚥や低栄養のリスクを有する高齢者に対して多職種が連携して支援に取り組んでいる病院・クリニックなどが散見されるが、まだまだ一般化していないのが現状である。

そこで本事業では、今後連携を予定している病院・クリニックなどの道標となるよう、地域に開かれ有効な連携が取れている事例を報告する。

B. 研究方法

本事業の研究員により推薦された連携有効事例 26 件を対象に報告書の作成を依頼した。作成依頼期間は平成 27 年 1 月 16 日から同年 2 月 25 日の間とした。

報告書への記載項目は、今後連携を進めていくために参考となるよう以下のように設定した。

1. 基本情報（①病院・診療所名、②病床数、③参加職種および人数）
2. 摂食嚥下・栄養障害への取り組み（①1ヶ月あたりの摂食嚥下・栄養障害初診患者数、②週平均の摂食嚥下・栄養障害患者数（外来：訪問：入院）、③特徴、④地域への啓発に効果的であった取り組み、⑤取り組みが軌道にのるための工夫、⑥苦労した（している）点、⑦今後めざす目標）

（倫理面への配慮）

尚、当該研究においては地域をつなぐことが目的であり、患者データをとるものではないが、東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会に審査をかけたところ、倫理審査不要との通知を受けている（受付番号 1168 番）。

C. 研究結果

依頼した 26 件中、期間内に提出された報告書は 16 件であった。その内訳は、①病院 2 件、クリニック 7 件、訪問看護ステーション 1 件、高齢者施設 1 件、医師会・歯科医師会 2 件、保健所・その他 3 件であった。

16 件の報告書（有効事例集）を次に提示する。

<有効事例集 1>

高齢者の摂食嚥下・栄養を支える取り組みの紹介
～地域に開かれた病院・診療所・施設・団体～

1. 基本情報

①病院・診療所名

社会医療法人財団大和会

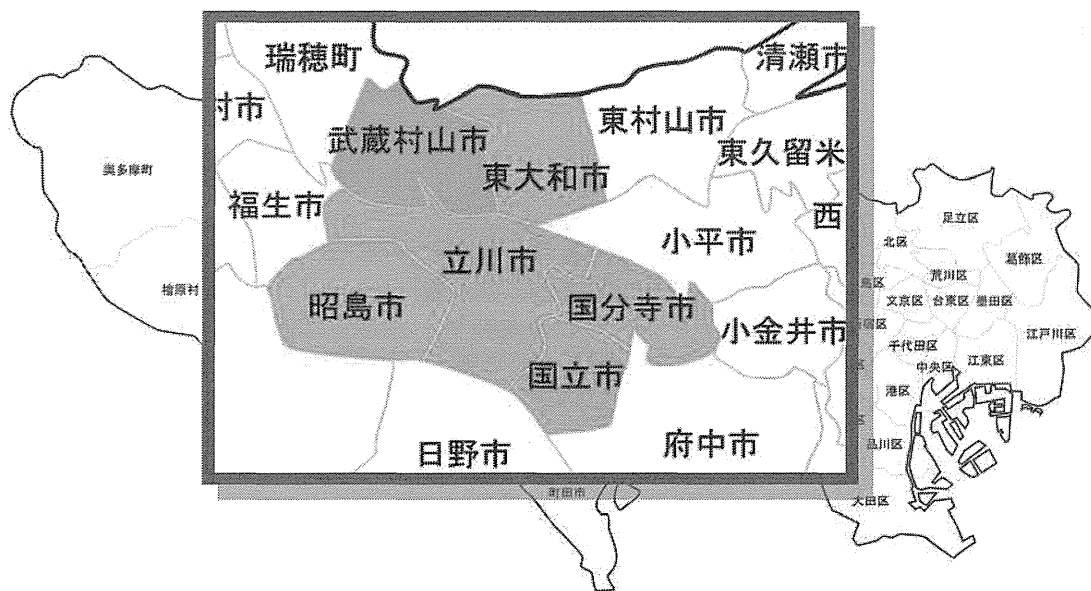
武蔵村山病院 歯科

住所：〒208-0022 東京都武蔵村山市榎 1-1-5

電話：042-566-3111（代表）



病院外観



武蔵村山病院は東京都西部に位置し、立川駅から北 5km のところにある。平成 17 年に「総合病院の設置」という市民の悲願を叶えるべく、武蔵村山市から誘致されて開院した病院である。市民のための医療を提供する武蔵村山市の市民病院としての役割を担っている。

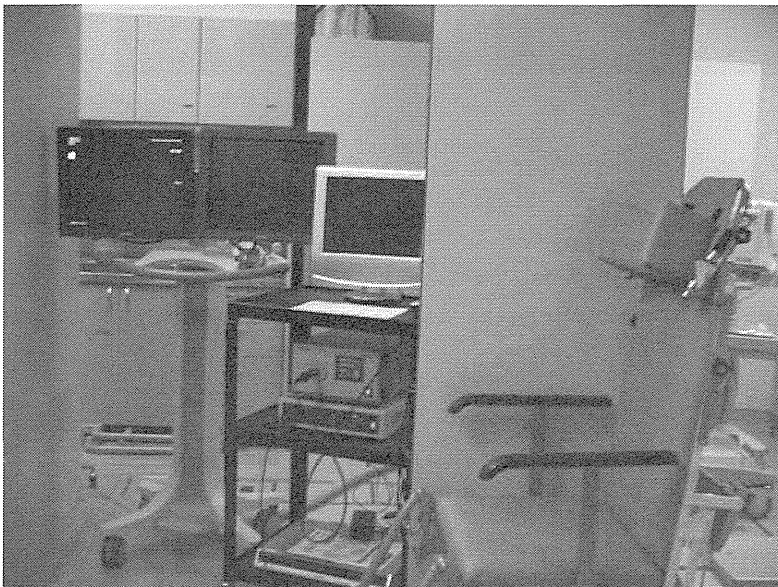
②病床数

300 床（一般病棟 144 床、療養病棟 104 床、回復期リハ病棟 52 床）

診療科：内科、小児科、産婦人科、外科、呼吸器外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、泌尿器科、麻酔科、皮膚科、病理診断科、歯科



歯科診察室



透視室

③職種および人数

常勤：歯科医師 1、歯科衛生士 1、言語聴覚士 5（リハ所属）

非常勤：歯科衛生士 2

2. 摂食嚥下・栄養障害への取り組み

①1 ヶ月あたりの摂食嚥下・栄養障害初診患者数

30 人

②週平均の摂食嚥下・栄養障害患者数（外来：訪問：入院）

1:15:34

③特徴

1) 地域の特性

武蔵村山市は、東京多摩地区の北部寄りのほぼ中央に位置し、南は立川市、東は東大和市、北は埼玉県所沢市に隣接している。東京都の市で唯一鉄道が通っていない。人口は 7.2 万人、高齢者率 26.4%の市である。

2) 病院・診療所の特徴

武蔵村山病院歯科は開院時に、回復期リハ病棟内の入院患者を対象とした歯科治療・摂食嚥下リハを行うために平成17年に設置された。回復期リハ病棟に入院する患者はすべて入院時に口腔内・嚥下に関して一般的な診査が行われ、その必要性和患者や家族の希望などを総合して治療的介入を行っている。リハ入院の対象となる患者は併存する全身疾患やADL低下のため退院後の通院に困難をきたす場合も多く、入院中に集中的な歯科治療を行うことで摂食嚥下障害に対して歯科の専門性を活かした対応をしている。一方で、嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査を行ったうえで摂食嚥下リハのプログラムを立案し、言語聴覚士に訓練を実施してもらうなど、嚥下リハ全体のマネジメントも行っている。

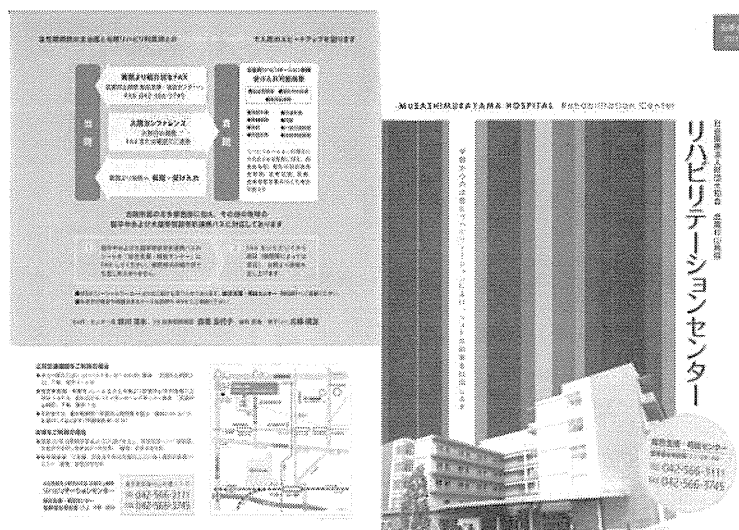


3) 他医療機関との連携

近隣の施設に入所中の方や、病院、クリニック、訪問歯科などから在宅の患者などを紹介される。紹介された外来患者は嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査を行い、必要に応じて言語聴覚士に嚥下リハを依頼し外来通院にて継続的な訓練を指導する場合もある。同一医療法人である東大和病院にはSCU (stroke care unit) があり、急性期における摂食嚥下リハ、食事開始時における嚥下評価や口腔ケアなどで週2回の訪問診療を行っている。

4) 院内のシステム作りの工夫

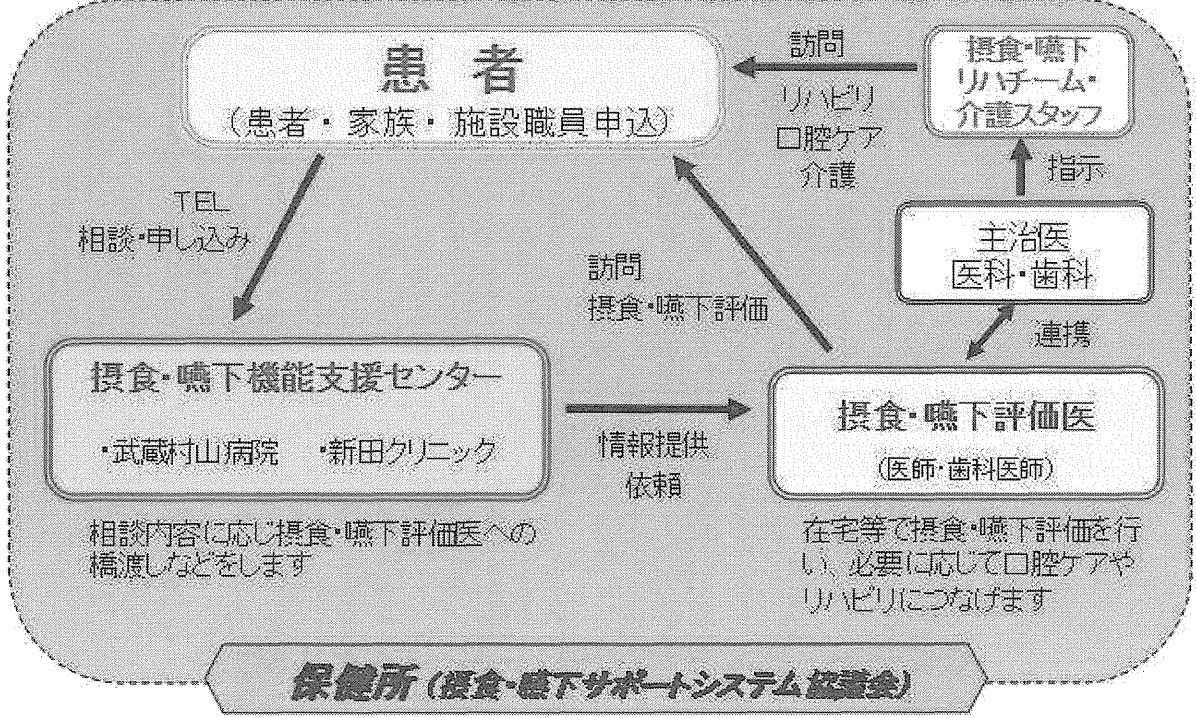
歯科としては機動性の高い少人数のスタッフで運営し、院内のシステム作りを重視した診療体制を構築している。摂食嚥下リハに関しては、歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・看護師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・医師の参加メンバーで嚥下カンファレンスを実施し、訓練内容や退院後の生活について共通した認識をもってチームアプローチができるように心がけている。口腔ケアに関しては院内に委員会を組織し、各病棟間で口腔ケアの質の違いがないように、使用する物品や評価方法、口腔ケア手順のマニュアル化を進めている。また、委員会内で病棟持ち回りの症例発表をすることで、口腔ケアの質の維持に努めるような機会を作っている。





④地域への啓発に効果的であった取り組み

北多摩西部保健医療圏摂食嚥下サポートシステムの事務局として平成21年から活動している。地域から相談を受け、必要に応じて評価医の紹介等を行っている。評価医は東京都の摂食嚥下リハの養成講座を受講した医師・歯科医師で、自宅での評価には外部からの観察による評価のほか、必要に応じて嚥下内視鏡検査などを行っている。このシステムを使って摂食嚥下リハを受けた患者の中から事例検討会に挙げ、地域の摂食嚥下に関わる多職種連携の強化や評価・訓練のさらなるスキルアップにつなげていくようにしている。



⑤取り組みが軌道にのるための工夫 (患者さんのピックアップ・フォロー体制作り、等)

院内の紹介元の診療科には対しては迅速で詳細な返信を心がけ、また週1回の嚥下カンファレンスを通じて評価から立案した訓練プログラムと実際の訓練や食事場面での乖離をできるだけ少なくする工夫をしている。回復期リハ病棟に入院中だけでは嚥下訓練の期間としては不足する場合もあるので、その際には地域の摂食嚥下評価医と連携して退院後の経過フォロー作りをしている。多職種によるチームア

アプローチが要なので、検査場面・カンファレンス・食事場面・口腔ケア委員会などにできるだけ関連職種が集まるように声掛けを常に行っている。

⑥苦勞した（している）点

摂食嚥下リハという側面からは歯科をリハセンターの一部として運用することが有用である場合もあるが、一方で独立した診療科として歯科疾患のあらゆる対応が求められる。個々の症例によって立ち位置が微妙に異なり、主科との密な連携が常に必要となる。チームアプローチとしてよく機能していると感じることもあるが、それらをマニュアル化することは非常に難しい。結局は人と人との信頼関係がチームアプローチの源であってシステムありきではない側面もある。一つ一つ症例を積み上げていく地道な姿勢が重要と考えている。

⑦今後めざす目標

コンパクトな診療科体制を維持しつつ院内での連携システムをより充実させて質の高い摂食嚥下リハを提供していきたい。また、今後は地域医療連携を進めるため行政や医師会、歯科医師会との摂食嚥下リハ研修会を行い退院後も安心して生活できる地域づくりに少しでも貢献していくよう考えている。

<有効事例集 2>

高齢者の摂食嚥下・栄養を支える取り組みの紹介
～地域に開かれた病院・診療所・施設・団体～

1. 基本情報

①病院・診療所名

独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 歯科口腔外科

住所：群馬県高崎市高松町 36 番地 電話：027-327-1826



当院外観



9路線が乗り入れる北関東最大のターミナルである
高崎駅から1.2km、徒歩15分の立地

②病床数

一般445床、感染症6床

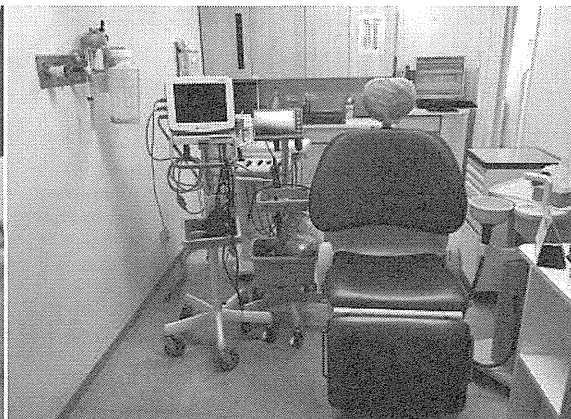
③職種および人数

常勤：歯科医師5、歯科衛生士4

非常勤：歯科医師5



【病棟】 摂食嚥下回診



【外来】 摂食嚥下・口腔ケア外来

2. 摂食嚥下・栄養障害への取り組み

①1ヶ月あたりの摂食嚥下・栄養障害初診患者数
26.7(人)

②週平均の摂食嚥下・栄養障害患者数（外来：訪問：入院）
3：0：17（人）

③特徴

1) 地域の特性

高崎市（たかさきし）は、関東地方の北西部、群馬県中部よりやや南西に位置する中核市。平成の大合併により、群馬県内では最大の人口を擁する都市である。人口 371302 人、147116 世帯（平成 22 年）。総人口に対して 65 歳以上の高齢者の占める割合は 19.6%。

2) 病院・診療所の特徴

当院は独立行政法人国立病院機構が運営する旧国立病院であり、政策医療分野におけるがん、循環器病の専門医療施設である。地域医療支援病院の承認を受けるほか、救命救急センターなどの機能を持ち、看護学校を併設する。歯科口腔外科は平成 21 年 10 月に新設され、現在医員 2 名・レジデント 3 名・非常勤歯科医師 5 名・歯科衛生士 4 名・診療ユニット 4 台で業務にあたっており、今年で診療開始 6 年目にあたる。ほぼすべての口腔外科疾患に対応可能な体制をとり、口腔外科疾患全般・全身疾患を有する患者の歯科治療・入院患者の口腔ケアおよび嚥下機能評価・手術室における周術期の麻酔管理・口腔顔面領域のペインクリニックといった、各医員の専門性を活かした診療内容を展開している。

3) 他医療機関との連携

The image shows a screenshot of the website 'ぐんま栄養療法ネットワーク' (Gunma Nutrition Network). The website header includes the logo 'Gunma' and the text 'ぐんま栄養療法ネットワーク'. Below the header, there is a navigation menu with items like 'トップページ', '最新情報 / お知らせ', 'セミナー・会議情報', '参加施設', and '患者・家族会'. The main content area features a '最新情報' (Latest News) section with a list of events from 2014 to 2015, including seminars and conferences. There is also a '参加施設リスト' (List of Participating Facilities) on the left side. A callout box on the right side of the screenshot contains the text: '県下10の2次保健医療圏それぞれの医療機関・介護施設・医師会・歯科医師会・看護協会・自治体が一体となって活動する地域医療連携システム'. Below the callout box, there is a photo of a medical activity with the caption '地域活動 各2次保健医療圏で行われている活動を紹介します'. At the bottom of the screenshot, there are sections for '最新情報 / お知らせ', 'セミナー・会議情報', '患者・家族会', and '地域活動'.

県下 10 の 2 次保健医療圏それぞれの医療機関・介護施設・医師会・歯科医師会・看護協会、自治体が一体となって活動する広域な地域医療連携システムである「ぐんま栄養療法ネットワーク」と連携し、講演会などの情報を定期的に発信できるようにした。

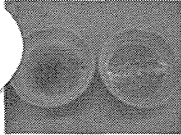
栄養科と連携し、所属医療圏内の諸施設間での嚥下訓練食や形態調整食にばらつきのあることから、統一することを目標に、対応表を作成した。

多病院における嚥下訓練食の統一

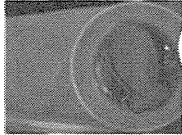
高崎摂食・嚥下統一検討会 (平成25年9月)


形態調整(キザミ)食について
名称・基準が異なっていた

統一検討会の実施により
嚥下調整食や形態調整食の
把握ができた




各施設にご協力いただき形態調整食、嚥下食を持参していただいた





嚥下食・形態調整食の確認



とろみ剤の粘度調整実習

各施設の一覧表 (一部) >

施設名	形態調整食	嚥下調整食	その他
施設A	キザミ	とろみ	...
施設B
施設C
施設D
施設E
施設F
施設G
施設H
施設I
施設J

各医療機関における
嚥下調整食や形態調整食の実態を把握することは
食形態の名称や統一化に必要であり、
地域連携がより円滑にすすむと思われた。

4) 院内のシステム作りの工夫

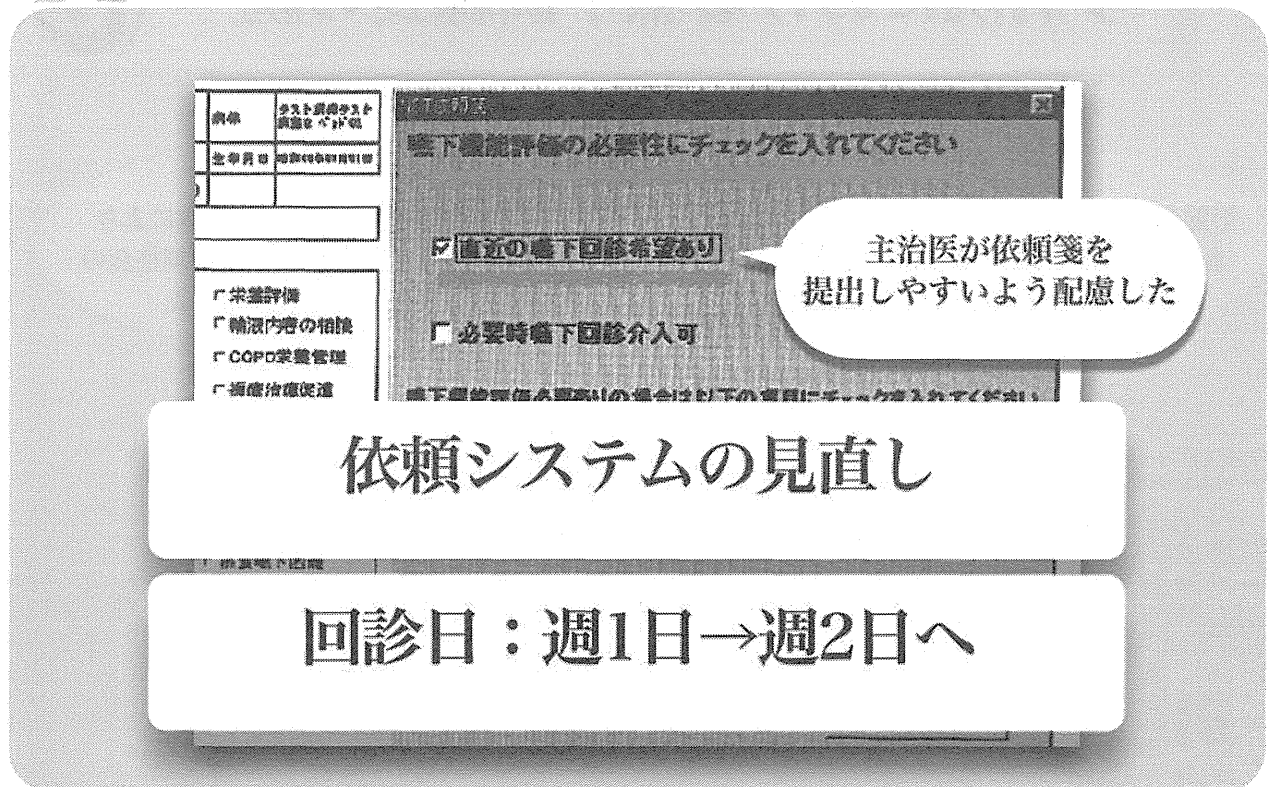
①NST サブチームとしての摂食嚥下・口腔ケアチーム

摂食嚥下・口腔ケアチームは医師・歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・管理栄養士・看護師および事務職からなる。もともと機能していた栄養サポートチーム (NST) のなかに摂食嚥下・口腔ケアチームをつくったため、NST 専属の管理栄養士や NST リンクナースを介して病院内での連携を開始時からスムーズにおこなうことができた。さらにカンファレンスも NST 会議にあわせて定期的に行うことができています。依頼箋に関しても、NST 依頼箋の中に嚥下回診の希望を入れ込んでいる。

②『摂食機能療法シート』

嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査の結果を踏まえて看護師に対処法を指導し、歯科と看護科双方で摂食機能療法をおこなっている (2014年: 4582件)。円滑に情報伝達するために、指示内容をまとめた『摂食機能療法シート』を作成・使用している。また、各病棟で摂食機能療法についての勉強会等もおこなっている。また、メディカルアシスタント (MA) による施行記録やカルテ、算定のチェックもおこなっている。

依頼箋の見直しなど



③依頼システムの見直し

どの職種からも主治医の了解のもとに直接回診依頼ができるように、また回診後の提案事項が円滑に反映されるよう回診システムを見直した。入院患者への摂食嚥下回診日を週1回から2回にして、依頼にきめ細やかに対応できるようにした。さらに主治医が提出しやすいようにNST依頼箋を改良した。これらの工夫により脳外科、神経内科だけではなく、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、外科、内科、小児科など様々な科からの依頼があがっている。